

平成 30 年 5 月 22 日
株式会社日本政策金融公庫

タイフェックス
タイ最大級の国際食品見本市「THAIFEX2018」に初出展
～農業者、食品企業の輸出を後押し～

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)農林水産事業は、国産農水産物・食品の海外輸出を支援するため、タイ最大級の国際総合食品見本市「THAIFEX__World of Food Asia 2018(略称: THAIFEX 2018)」に「日本公庫お取引先用ブース」を初出展します。

「日本公庫お取引先用ブース」は、日本貿易振興機構(略称:ジェトロ)が運営するジャパンパビリオン内に設置され、日本公庫のお取引先の農業者・食品企業5先が、国産の乳製品、牛肉、さつまいも、海産物などを出品します(出展者・出品物の一覧は別紙)。

タイ国内では、日本産食材が浸透してきており、農業者・食品企業にとってのビジネスチャンスが広がっています。そこで、今回、タイで開催される食品見本市に日本産食材の団体ブースを出展し、輸出に取り組む意欲のあるお取引先に商談の場を提供するものです。

出展者に対しては、ジェトロと連携しながら、出展前の準備、会期中のサポート、事後フォローまで一貫したサポートを行います。

農林水産業を成長産業とするために、国産農水産物・食品の「輸出」を促進することが国の重点的な取組みに位置づけられているなか、日本公庫はお取引先の海外展開を引き続き積極的に支援していきます。

○THAIFEX 2018 概要

イベント名 : THAIFEX__World of Food Asia 2018
会 期 : 平成 30 年 5 月 29 日(火)～6 月 2 日(土)
会 場 : インパクトエキシビジョン&コンベンションセンター
主 催 者 : ケルンメッセ株式会社(Koelnmesse Co., Ltd)



(ジャパンパビリオンの様子①)

(2017 年実績) ※主催者発表実績

出展社数 : 2,169 社 (46 ヶ国・地域)

来場者数 : 55,111 人 ※バイヤー来場者数のみ (130 ヶ国・地域)

○ ジャパンパビリオン概要

会 期 : 平成 30 年 5 月 29 日(火)～6 月 2 日(土)
会 場 : インパクトエキシビジョン&コンベンションセンター
(インパクトホール 4)
主 催 者 : 日本貿易振興機構(ジェトロ)

※ジャパンパビリオン内に「日本公庫お取引先用ブース」を設置



(ジャパンパビリオンの様子②)

出展者・出品物一覧（五十音順）

No.	企業名	出品物	会社概要
1	(株)岩淵畜産 千葉県 (旭市)	しあわせ牛(交雑牛) 	1965 年創業。2002 年に千葉県内の農家と共に「東日本産直ビーフ研究会 千葉」を立ち上げ、グループ全体で肉牛 9500 頭を肥育、年間 6500 頭を出荷。豊かな自然環境の中で、同研究会指定の厳選飼料のみを使用してじっくりと育てた肉牛を、健康で品質に優れ、生産から販売までのトレーサビリティも明確な「しあわせ牛」ブランドとして販売している。
2	(株)MMJ 群馬県 (伊勢崎市)	牛乳、アイス 	2002 年創業。日本国内唯一の全国レベル生乳流通会社。北海道を中心に全国の契約農家から集乳。クーラーステーションを通さず乳業メーカーに直送することで低コスト輸送を実現するとともに、少数農家のみの合乳による正確なトレーサビリティを確保。酪農家と乳業メーカー、そして消費者を最適な流通で結ぶ生乳売買の新プラットフォーム。原乳のほか、乳業メーカーや販売店と協力し、各種パック牛乳やアイスクリーム・ヨーグルト等の加工品を展開している。
3	(有)小田畜産 鹿児島県 (南さつま市)	小田牛(黒毛和種) 	1973 年創業。南九州の温暖な気候と豊かな自然に囲まれた鹿児島県知覧の農場で黒毛和牛 4500 頭を飼養し、年間 2400 頭を出荷。米・粉碎大麦を配合した独自飼料を始め、全ての過程に時間と労力をかけ、黒毛和牛本来の赤身とサシのバランスの良い「小味のある肉」小田牛を生産。2016 年に新設した自社加工施設で各種加工にも取り組んでいる。

<p>4</p>	<p>株式会社アオイファーム 宮崎県 (串間市)</p>	<p>さつまいも</p> 	<p>1950 年創業。青果用のさつまいもに特化し、120ha の農場で独自にブランディングした5品種のさつまいも(くちどけいも、葵はるか、イロドリムラサキ、安納とろとろ、べにほっくり)を年間 4000t 生産。生芋の他、干し芋や冷凍焼き芋、ペースト等のオリジナル商品に加工し、自社ブランド「AOI'S ONE(アオイズワン)」として販売に取り組んでいる。</p>
<p>5</p>	<p>大栄フーズ株式会社 神奈川県 (相模原市)</p>	<p>珍味、とびっこ等</p> 	<p>1973 年創業。シーフード惣菜メーカーとしてスタート。現在ではとびっこを代表商品としつつ、日本特有のヘルシーで繊細な味わいをもつ食品を各国の人々の味覚にあった商品にアレンジし、北米・東南アジア・ヨーロッパへ輸出も行っている。中でも日本風「中華くらげ」や「中華いい蛸」等の中華惣菜は、東南アジア諸国の国境を超えたヒット商品となっている。</p>